

が ン ば

報 行 部
島 三 小 育 友 会
発 報 刷 所
広 報 刷 所
印 刷 所
つ る か わ 印 刷 所

〔 第 4 5 号 〕



島三小体育館建設の起工式は、十一月十日午前十一時現場において、秋晴れの日ざしのもと、神式により

宮崎市長

小西議長

酒井教育委員長

平井教育長

山本体育館建設促進委員長

林田校長

吉田育友会長

外関係者多数、又工事担当者側から今井相互建設社長外多数列席、宮崎市長の鍬入れに始まり敷爾裡に執り行われ、列席者一同島三小の発展を祝福した。

体育館

三月に完成

学校長 林田 長



私たちが首を長くして待っていた三小体育館がいよいよ着工され、すでに基礎工事も完了して骨ぐみが次々に出来ております。みなさんと共によろこび、無事に、りっぱな体育館が、一日も早く完成することを祈りたいと思えます。三小体育館の建設につきましてはは多年、育友会のみなさんを中心として地区の総力をあげて推進してこられたわけで、白山のとりこわしを機に、山本前会長をはじめ、役員の方々の格別のご努力で敷地が決定しました。昨年五月体育館建設委員会が結成され、市当局並びに教育委員会に対する陳情を重ねたわけであります。幸に市長さんはじめ市当局の深いご理解と、教育委員会のご努力によって建設決定のはこびとなった次第であります。その間育友会のみなさんとはもとより地区総ぐるみの署名陳情をはじめ、真情をこめての念願が、ここに

叶えられたわけで、まことに喜ばしい限りであります。体育館の規模は総面積九五・八平方米でフロアの広さが八三七平方米、ステージが一八・八平方米でフロアは横二七米縦三一米でバレーコート二面、バスケットコート二面、正式バレー、バスケットコートの用意も出来ており一小、二小、三中、三会中より一〇〇平方米も広がりっぱな体育館であります。今後三小のこどもの心身鍛錬の場として毎日活用するばかりでなく、育友会をはじめ地区の各種団体の方々が心身をみがき、お互いが知り合う場としても大いに活用できるわけで、一日も早く完成して活用できる日を待ちわびているわけです。育友会をはじめ地区の皆さま方のご熱意とご協力で心から感謝申し上げます。まことに簡単ですがご報告いたします。

一年

宿題について

崩山 田中まつ代

宿題はあった方がいいとか宿題が多すぎてどうものびのびと育ちにくいのではないかと、いろいろ意見を耳にする

特集 家庭学習について

にいただいたテスト等を見せましますので、よくできたものはほめてやり、×があつたら早速もう一度たしかめ合いの話

つてやります。

宿題は、本読み何回、漢字何ページ、計算練習何回したとかいうくり返し練習が多いようですが、一年生にとって

ある本の中に「活動的で体力もあり又学習意欲もあるお子さんだったら先に充分遊ばせてそれから休養、学習と進

ませるのかもかわらない。」とありました。もつともなこ

宿題

下川尻 岡本一豊



「宿題」ずい分子供のころより耳にした言葉だと思ふ。今はすっかり御無沙汰になつ

たが誰しもが宿題に悩まされ成長された事と思ふ。暗くなるまで遊んで宿題にかかる時

こともしばしばだろうし、多人数の子供達全部が理解する

「前もって提出しておく問題」が生かされて来る事と思ふ。つまり次の勉強へのステップ

二年

頑張り帳について

栄町 芝田扶実子



思えば昭和四十八年四月、私には始めての子供の入学です

始めての参観日に頑張り帳と云うものがある事を知り頑張り帳のさせ方等の指導を受け

向って勉強する様になりまし
た。
又お友達同志で勉強すると
云う事も覚ええました。

やはり低学年での自主的な
勉強は無理な様で、頑張り帳
等の一つの目標があった方が
子供の机に向う一つの習慣づ
けの為にはいいのではないで
しょうか。

がんばり帳

について

下川尻 勝田良子

秋も深まり、すぐに夜が来
てしまうような毎日ですね。
子供達が「お母さんたたいま
と書いて帰ってからの夜のほ
じまりの様です。三人の子供
達にかこまれて食事が始まり
ます。学校での様子が口々に
飛出します。食事が終るとす
ぐにテレビの前に坐りこみま
す。勉強部屋に行くのかなと
思い待っているが、いっこう
に行く様子がない。私が「勉
強はすんだの」ときくと、「
これを見てからね」と声が帰
ってくる。やっと一時間半ぐ
らいで、テレビのチャンネル
が切れる。三人それぞれの内
容のがんばり帳になっている。

三年

テレビと家庭学習 について

川尻 藤山貞子

子供の学習には、学校教育
と家庭教育とから成り立って
いると思います。この家庭学
習は、学習の指導や勉強の相
手になる事も必要ですが、そ
の他に勉強の邪魔をしている
ものをどの様にして上手に取
り除くかと云う事も大切だと
思います。そして子供が自発
的に一定時間は必ず勉強し
なければならぬと自覚し、
それが習慣となる様に親が手
を貸してやるのも一策だと思
います。この様な事が近い將
来になって、親がテレビのス
イッチを切らずに済む「勉強
の鉄」の第一歩ではないでし
ょうか。



現在の生活の中でテレビを
除く事は不可能に近い事です。
その上私達を引き付けるに充
分な魅力を持っています。そ
こでテレビはただ単に見るだ
けでなく見ながら考える様
に又見た後に考ええるという態度

を育てたいのです。時には
どの様な番組にも親子で見な
がらその印象や状態を話し合
ったり質問し合ったりする事
により子供の目を通しての物
の見方と云うものを理解する
事も出来ると思います。

子供の好きなマンガの中か
らでも、それを童話に、また
物語に、小説に伝説にと少し
枝葉をつけ話し合うのも楽し
いものです。「駄目」と云う
言葉よりか、それよりもこれ
をと云う指導が出来る様な道
しるべを示すだけの親の勉強
の必要さと又その指導に素直
について行ける子供に育てた
いものです。何年か先には
自分の判断で選択出来る様に
して行きたいものです。

テレビは目で見るだけで内
容の全てが判りますが、ラジ
オは耳で聞く事により聞く力
をつける事が出来ます。それ
により考えたり想像したりす
る力も加えられます。子供は
聞く事によりその情景を思い
浮べたりしながら自分で考え
を飛躍して行く様になります。
又読むと云う事についても、
子供が先づ興味を持つ様にす
べきです。マンガは何才にな
っても子供の最大の焦点の一
つと思います。マンガは子供
の想像力を広げたり、気分転
換になったり、友達同志の共

通の話題を提供してくれませ
大人はマンガを一方的に排斥
するのでなく、家庭学習の中
で子供自身に生活のけじめを
つけさせて学習と娯楽のバラ
ンスをとる事を体得させる事
が大切です。家庭学習は学校
教育の子習復習の外に子供の
躰についてが最も大切だと確
信します。私はその躰の一端
として現代の子供から絶体
切りはなせないテレビから良
い影響を取り入れる事と、忘
れかけているラジオの存在価
値を見直し、新聞や読書への
関心を親子共々高める事が大
切だと思えます。

テレビと家庭学習 について

新山西 梅林次生

テレビと家庭学習の問題は、
テレビ放送が初まって以来統
いており、色々な意見が提示
され、問題点が報告されてき
ました。
しかし、依然として、この
問題が解決できないのは、家
庭内において、また、子ども
の生活の中に深く根をおろし
ているからにはかならないの
ではないでしょうか。
私の家も例外ではありませ

ん。テレビの弊害と効果を考
えた場合、一方的にテレビを
除去することはできないよう
です。

子どもは、テレビのまねを
し、テレビの宣伝のものをほ
しがり、朝起きると同時に、
「ピンポンパン」や「おはよ
う子どもショー」などを見て
は色々なことを学び、また、
夕方五時ごろから七時ごろま
では、多様なマンガを見て、
育っています。

私は、自分の小さいころの
マンガをなつかしみ、あの頃
のマンガは良かったとよく話
しますが、あの頃、ほんとう
にいいマンガとして先生が
奨励し、親も奨励したかとい
うと決してそうではなく、今
の親と子どもの立場と似た状
況の中にあつたようです。

そこで、親としてどのよう
に対処しようと考えているか
と言うと、特に規制を加える
ことはしないで、やはりマン
ガはマンガであり、現実のも
のではなく、真実でもないこ
と、ただあるから見るので
なく、楽しみとして見るこ
と。テレビだけでなく、色々な遊
びの楽しさ、できるだけ本を
買い与え、読書の楽しさも与
えようとしています。
小さい子が休む前には、昔
話をしたり、親と子のつな

がりを大切に生きています。
子どもはテレビを見て休むの
でなく、昔話などをねだりな
がら、親の口から語られる話
を聞きながら(毎日のように
同じ話ですが)休むようです。
親と子が何でつながり、テ
レビを何の役に使っているか
を考えていかなければと思っ
ておきます。

学習の問題は、テレビが学
習のじゃまと考えるより、直
接学習に生かすという短りゃ
くな方法でなく、間接的に生
かす方法、たとえば、子ども
の生活の世界を広げてやる方
向で考えていきたいと思っ
ています。そして、親と子の広
場を広げていくべくなんとか
毎日を通しているのが、現実
の姿です。

四年

テストに

対して

森川 静子

仙台市で、主婦がわが子の
受験勉強の邪魔になるからと
隣の家の幼女を殺した事件は
いかに受験競争が人間を狂気
に走らせるかを見せつけられ
た思いがする。

わが家にも四年生と一年生
の女の子がいるが、これがの
んき者で、大の勉強が嫌い。
「勉強しなさい。」といっ
ても、一向に効き目がない。
先日、四年生になる姉が家
へ入るなり、私の顔をうか
がいながら不安そうな顔で、
「お母さん今機嫌がいい。」
ときくのである。私は、学校
で何かあったのではないかと
はっとした。そしておそるお
そる手のひらに一枚のテスト
をのせて「お母さんごめんな
さい。」とあやまるのである。
私はそのテストを見て二度
びっくりなんともまあみごと
な点数なのである。どんな点
数であろうがわが子が一生懸
命がんばった点数であるから、
しかたがないことではあるが、
なんという点なんだろうかと
腹立たしくなるが、しかった
ところで仕様がないう事である。
一般に母親というものはテ
ストに過敏になりテストをも
って来たたんびにしかつたり、
ほめたり、子供から見たらま
るでこっけいにさえ見えるか
もしれない。私もそう思われ
ている一人なのである。なぜ
なら、点によって不安になっ
たり安心感をあじわって見た

り、まるで子供達を自分の枠
にはめこもうとしているので
ある。だが少くとも自分では
子供のもって来た点に対して
声をあらだてたつもりはない
と思っていたが、しらすし
ずのうち子供達は母親の顔色
をよみとっているのでしょう。
まことにはずかしい事である。



学校のテストについて

下川尻 斉藤 明子

私共の頃と違い小学時代か
らテストに追い廻されている
現代の子供達は、テストをど
んな風に考えているのでしょ
うか。本来なら普段の学習の
成果であり、反省であるべき
テストも今の受験体制の中で
は直線的に高校大学へと繋る
為、親子共にどうしても点数
ばかりに敏感になつていよう
に感じられます。将来否応な
しに受験地獄なるものにまき
こまれるであろう子供達の事
を思えば、せめて小学校の間
はこのびとさせてやりたい

と思う反面、小さい頃からの
積み重ねが勉強であり、又毎
日の習慣が先々子供の負担を
軽くする事を考えると、点数
ばかりを見るのでなく、きち
んとした家庭学習のできる子
にしなければと思います。し
かも学校の授業だけではとて
も時間が足りません。との先
生方のお話を伺えば、親とし
てはもっと家庭学習という事
を考えなくては、という事に
なります。確かに内容を見て
やるにも限度がありますし、
忙がしくもありませんが、それ
以前にもっと勉強に対する意
欲を育ててやり、学習の習慣
づけに協力する事が大事と思
われます。そのやり方も、こ
れと違って特別な事もできま
せんし、あれこれ思い迷いま
すが、少くとも低学年の間位
はテストの点数は親子の共同
責任という事にして、少しな
りとも、親も共に勉強する姿
勢をもたねばならないのでは
ないか、と反省しています。
それにしても、テストは学
習の成果を見るもので結果で
なく、先に進むための反省と
足がかりであるという事を、
皆が受け入れる様にならなく
ては、と心から思います。

五年

学習塾を

考える

湊新地 大島 政助

先日何気なくテレビを見てみると、あるドラマの中で、中学校の校友会の会合がありP側の要望として、一流会社に就職させるには一流大学、一流高校を卒業することが必要だし、子どもの教育もその点考えて取組んでほしいとの意見が出された。

それに対して二人の先生の発言があったが、理想論としては人間性をどう養っていくかが目的かも知れないが、現実として学歴社会であってみると父兄側の要望意見に添うべきだということ、何も一流会社一流大学ばかりが人間の幸せにつながるものでない人間とはいかに社会に役立つ人間になるかが教育の目的であって人間性をいかに育てるかが必要だという意見が出された。

口では後者の意見に賛成しても、現実となると前者の意見を支持する方も多いと思う。私はこの事を前提として、塾の問題は考えるべきではないか隣近所が、家庭での学習指導ができない、家では勉強しないから等の理由からでは親として考える必要がある。

それよりも子ども達の家庭学習を生活の中でどう位置づけさせるか、自主的にどう取り組ませるかの環境づくりが大切でありましょう。

学習の方法も訓練的学習、考える学習があり訓練的な学習の慣習から考える学習への発展へ育て、塾万能ではなく主体的学習にどう取り組ませるかが先決ではないかと思う。

家庭学習と親

桃山 児島 善子

「落ちこぼれ」という言葉がよく言われる。いわゆる教科内容を消化出来ず、授業についてゆけない子ども達のことである。学習する事が難しく複雑になるにつれて、その数も増えていくとか。昔から椅子を温めただけ学校に行く様な子は、いるにはいたけどその数が増えてくると、問題になってくるのは当然でしょう。

授業参観の折、気付かれる様に「グループ学習」というのでしようか、わからぬ所を教え合ったり、先生方もグラフの様なものを利用して、子どもを励ましたり努力して下さっていても尚わかりにくかった点を補う意味でも、その日の勉強を復習し、得意な教科は予習までゆくのが家庭学習の一つのあり方とすれば、低学年より自分で勉強する習慣が身につけている子は別として、三年位で今迄側についていて「さあ読んでごらん。書いてごらん。」と言ってくれた親がコロリと子どもより手を引き「勉強しなさい。」と机に向っている時間だけ問題にする様になると、この辺より家庭学習にも差がついてくる様に感じます。宿題の是非が問われたりしますが、こんな時一番子どものつまづいている点を御存知の先生が、復習すべき要点を機会ある毎に出して下さる事を望んでいます。又、たまには親も最初から敬遠せず、子どもの教科書を読んでみるのもいいし、子ども達が愛読している月刊本や単行本を読んでみるのも現代子気質等わかり面白いし、それにもまして大まかでも子どもが今どんな事を学んでいるかの目安にでもなればいい

と思ったりします。熱心に、子どもへの知識の導入に力を入れられる親もあるかとも思いますが、毎日の家庭学習の中で、計画的に少しずつ勉強する習慣がついてくれば、子どもも重荷にならず、自主的に勉強し、基礎学力を身につける事を大切に考えれば、小学校の内は落ちこぼれが一人でも少くなるのではないかと思います。

又、六年で私立中学への受験で、塾通いしたりして苦闘している子ども達をテレビ等でみたりすると、まだまだ親子共のんびりで幸せだなとつくづく思ってしまう。

六年

家庭学習

について

川尻 山本文子

子供が少しでも良い成績をとってくれたらと思わないと云えばうそになりませんが、少なくとも母親としてこの六年間、進んで子供の学習に協力したとは云えません。時々質問を受けた時、一語に考える位なものでした。

先生が教科書にそって学令に応じた知識を与えて下さるので、自身で勉強ができるような環境づくりをしてくれることが、私共家庭の役目であると思うのです。そして子供自身誰の力もかかずに、一人で学習できるより努力する力をつけてやる事が、一番大切なことではなからうかと思えます。

私自身この方針できたつもりですが、あまり効果はあがりませんでした。

これから先中学、高校と進む段階に於て、自覚し自ら究めようとすると姿勢ができてくることを期待しています。特に小学校の頃は自由で明るく楽しい学習でなければ学習効果はあがりません。家庭は知識を与える場ではなく、よき家庭人、よき社会人として人間教育の場でありますから、学校での学習の延長では好ましくないと考えます。今後、この方針で家庭学習を考えてゆくつもりです。学習意欲のなる雰囲気づくりが最も大切なことではないかと考えています。生来、呑気な我が家の子供はこの親心を理解するには程遠い存在で、中学校進学を目前に、反省させられるこの頃です。

親として

新山東 森 良彦

今年の夏休み、子供をカナダのブリテッシュ・コロンビア大学で行われた夏期林間学校に参加させる機会に恵まれたので、まず子供の意見を求めたところ、ぜひ参加したいとの事であった。では次に母親の意見を聞くといひ話してはいるが大丈夫だろうかとの不安含みの答えがかえって来た。子供は小学四年生の女の子である。もう一人歩きを始めるのも無理ではないと云う事が私自身解っていたので結局参加する事になった。

私自身一人歩きが無理でないと判断したのは、それなりの準備をすでに終えていたのである。私は親として子供に対する教育と云うか責任と云うか、つまり役目として彼女が小学生になった時、色々考えた。

現代の民主主義社会の中に於いて、何を考えどう行動したらいいのか、特に情報の氾濫と歪められた物質文明の中で、人生のかじをどう見出すべきか、その他多様化した思慮をどう受け止めて行くか並大抵の事ではない。まして現

在がそれであれば将来どう社会が変革されて行くのかはなはだ不安に耐えがたい現状である。親として子供に願う事は幸せて健康でと一般的に云われる通りであるが人それぞれそのつかみ方に大きなちがいがあると考えている。そこで私は民主主義の基本的精神である権利、義務、責任を主体とした家庭教育を考えたい。言葉はむつかしくとも現代の日本人は、この制度を基本として生きていくので日常生活の中で常に接しているのであるが、それが正しい方法か誤りであるかと云う事が問題である。学校に行く権利を持つ子供は勉強する義務があり新しい事を覚える責任がある。又子供の時は勉強する事が大切だから社会の為、人の為、貢献する事は出来ないが一生懸命勉強する事により色々な事が理解出来る様になって来る。そうして今度は社会の為仕事を通して貢献してゆける人間になれば人々は幸福であり世の中は平和になって来るし人間である以上そうする責任を持っている。その過程のむつかしさ厳しさに負けない様に正しく教えるのが大人である。考え方は以上の様に考えているがその方法としてまず勇氣・決断・実行をどう養

わせるかこれまた大変だと思わうが親として真実の愛情があれば出来ると思う。しかし現代の親子の愛情の中に過去の社会混乱と現代の物質文明でめばえた愛情エゴがない限りと云う事である。現代の教育に欠けている大切なものは厳しさではなかるるか、この厳しさの中でこそ本当の愛情は生れ勇氣は生れ育って行くのだと考える。学校教育で体罰がよく問題になるが、謝る方も文句を云う方も子供可愛さに誤った考えと本質的愛情の確信がないからではないかとふと思いたくなる方が誤りであろうか。私は体罰を否定も肯

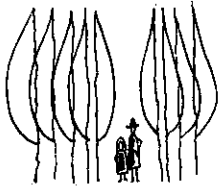


定もするつもりはない、要は厳しい中から生れた愛情の表現の一方方法であれば結構だと考える。ある日子子供が義務を怠った事で私は夜家を追いだした事がある。すると夜十一時もなれば母親はその意義すら忘れ、おろおろとして中途半端な発言やら行動を始める、目的の為の遂行を途中で止めるぐらであれば始めから怠る事を見逃すべきである。私は追い出した子供が真夜中に反省しつつ時を安全に過すであろうと親としての確信があったから家の中に入れる事を厳しく反対したが、それも限度があると考え午前0時過ぎ寝てやった。私が起きていては母親の出る幕がないと思つたからである。案の定、子供は泣きながら寒さをしのぐ為、犬舎の中で犬を抱いていたそうである。そして母親になぜこうされたのかをよく聞いて聞かされ二度と同じ誤ちは起さない様である。

私も親である以上可愛さが先にたとうとするが親としてつらさや可愛さを我慢する時子供は一歩一歩の成長があると考えれば親たる者猫可愛がりだけは反省すべきではなからうか。

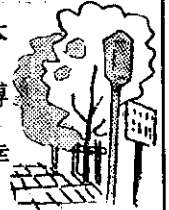
又子供が小学二年になった時のある土曜日、一人で福岡に行く様云って、外港で福岡迄の一枚の切符と千円を持たせ船に乗るよう云うと一人で行く不安や恐さ等で目には涙が光る程行く事を拒否した態度であるが私がここで可哀想だと思つて計画中止する事は簡単ではあるがもし一人で福岡に行けたと云う体験が今後の子供の為になるかと考えた時にはやはり可哀想でも船に乗せる以外方法はないのである。心を鬼にして家に帰って中中には入れないからと云うと子供は不安一杯の表情で福岡のおばあちゃんの家へ行つたのである。夜の電話で無事に着いた報告をする時の子供は別人の様でした。私はそこで子供の中に芽ばえた小さな勇氣を感じました。以後は親の心配をよそに事ある事に理由をつけて福岡まで行っている様ですが、今はもう親の出る幕がない程、力強い足どりで家を出て行くそうです。私はいつ一つのこうした体験の中から子供の成長を感じ喜んでいきます。百点であるとか通知表の◎などには親子共々あまりこだわらたくありません。その様な優劣の表現で一つの教育は何か肌寒さすら感じます。それよりも子供の

教育の責任は大人にある事をもう一度改めて考えるべきではないかと思えます。「今の若い者は」から「今の子供は」と云われる時代です。百点だけに目を向けるのではなく親として子供に何をなすべきかを考えた時、体験する事に依り生れる勇気とその実行又良い友達つくり環境の必要性を私は親として子供に教えて行きたいと思えます。今まで書いた事は私の考えの一部にすぎませんがこうした意図のもとにサマースクールの参加を考えた次第です。留守の期間毎日が心配で不安でたまらなかつたけれど子供の成長の為又、大人になって勇気を持って人生を送ってくれる事を考えた時やはり私がその淋しさに耐えるのが子供への深き愛情だと考えて元気な姿で帰る子供を毎日待っていた様です。子供の明日の為に。



育友会 バレーボール大会

保健体育部 坂本博幸



保健体育部年間事業計画のメインイベントであります育友会バレーボール大会も無事終了いたしました。私の部長としての仕事もようやく終りに近づき、ほっとしている次第です。多少のんびりやの私今年は大変な年でした。大役を引受けましたものの失敗の連続でしたがどうかこれまでこられましたのも会長、副会長、会員の皆様のお陰と感謝申し上げます。

今年も昨年同様、二小、二中体育館を借りて試合を行いました。三年前始めて三小の運動場で第一回目のバレー大会がありその時は腰にタオルをぶらさげて珍プレーをやった時に比べ三年間でよくもまあここまで進歩したものだと思心いたしました。バレーボールの魅力は私は野球出身ですけれど、野球にないものがあります。雨の日寒い日暑い時夜でも練習ができて楽しむ事ができますが、なんと云っても一番の魅力はカアチャンとできる事だと思えます。試合は今年も昨年同様各パート

より四強津町、崩山、新山東下川尻が勝ち進み二中体育館で準決勝、決勝を行いました。まず夫婦五組をメンバーに持つ本田副会長が率いる練習の津町が二年連続で優勝しました。新山東対下川尻の試合も球誌に残るような好試合で応援合戦も見ものでした。伊藤先生率いる崩山チームも土地柄がにじみ出る試合運びで好感が持てました。来年は津町に一矢を放つチームが大いに頑張って下さい。後で書いたのですが来年は高校野球なみに監督会議を開きその時抽選も育友会でしたらなお面白いのではないかと思えました。抽選も勝敗の内だから是非来年の保健体育部で取り上げてほしいものと考えます。念願の三小体育館も来春早々には完成と聞いております。最後に体育館建設記念「こけら」落しのバレーボール大会も六年生父兄の為に卒業前に是非実現できるように願っております。

冬休みの健康管理

校医 河原弘

子供達にとつて休み程嬉しいものはないでしょう。

夏休み、冬休み又春休みと色々ありますが健康管理も又夫々季節によって異なることは当然のことです。

一般的に休みになると生活が不規則になり易い冬には屋内にちこまりがちになる子供が最近多くなってきたようです。子供は風の子と昔からよく云われています。元気に寒さに負けない子供になつてもらいたいと思えます。

冬に最も多い病気は何んといつても「かぜ」です。発熱くしゃみ、鼻汁、せき等の症状があり、これらが全部そろわなくても「かぜ」といつています。しかしこの中には原因が細菌によるものとウィルスによるものがあり、又これとまぎらわしいもので寒冷気候、気象の変り目、或は有害なガスやほこりを吸い込む機械的な刺激、アレルギー体質のある者で、アレルギーをおこす物質を吸い込むことに

よつて鼻やのどや気管内の渗出性炎症をおこすものがあります。症状はその流行と体の反応の仕方では様々ですが、特に低学年では食欲もなくなり嘔吐、時に下痢等もおこします。合併症には気管支炎、肺炎、又中耳炎があります。「かぜ」ぐらいといつて馬鹿にしていると大変なことになるります。予防には疲れを明日迄残さないこと、規則正しい生活をする事、人混みには「マスク」を使用し、外出後は必ず「うがい」を行うことが大切です。又インフルエンザには予防注射があります。又よく扁桃腺をおこす咽頭のリンパ腺が集まつたもので細菌により炎症をおこしたものを扁桃炎といふます。症状としては高熱にくらべて元気がよいのが特徴です。のどが痛み、扁桃腺が赤く腫れその上に点状又は斑点状の黄色の膿苔がついています。時にくびのリンパ腺も腫れることがあります。外出後は、「うがい」を行うことが大切です。放置していると、腎炎、リウマチの原因になるとあります。

冬は比較的運動量が少なく特に年末年始には色々と食べ過ぎになりがちです。胃腸炎

は夏季程多くはないようすが、ひかえ目に食べることが大切です。

又冬期によくみられるものに凍瘡(しもやけ)があります。手や足の先、耳など、体の末端部が冷たくなり、むくんで紫色になります。ぶよぶよ腫れ、くずれたりすることがあります。原因は寒さによって皮膚の血管がよく働かなくなり血液の流れが悪くなりそこにたまるのが原因です。マッサージ、温浴を行うとよいでしょう。若しくずれたり又「ばいきん」がついて化膿したら早目に医療を受けることです。

以上冬に子供におこり易い病気を簡単に述べてみました。御参考になれば幸いです。

目を大切に

島三小養護教諭
山田勝子

昔から「目は心の窓」「目は口ほどにものをいう」といわれている。この大切な目について考えてみましょう。

最近の学童に一番多い疾病はむし歯、その次は近視です。そこで本校では、毎年、十月十日、目の愛護デーの頃、第二回目の視力検査を全児童に実施しています。

その結果は別表のとおりです。

視力測定結果(S50年度)

島三小

学年	視力異常者(0.9以下)			1・2学期の比較	
	10人	20人	30人	なおった者	悪くなつた者
1	20(2)			9	13
2	22(0)			6	5
3	17(3)			3	9
4	29(5)			1	5
5	28(9)			0	2
6	29(1)			3	2
全校	1学期 145人() 要めがね 30人			22人	36人
	2学期 159人				

(異常者数 S49年度173人 S48年度210人)

視力異常者(〇、九以下)には検査直後、お知らせカードをわたしました。もうすでに受診され、専門医の先生からひとりひとりに応じた適切な治療をうけ視力回復へと努力されていること、思います。なかには、メカネさんになつてしまった人もいます。

やはり、早期発見、早期治療は効果があり、一学期検査後数ヶ月間で正常視力へと治つた人が二十二人もいます。

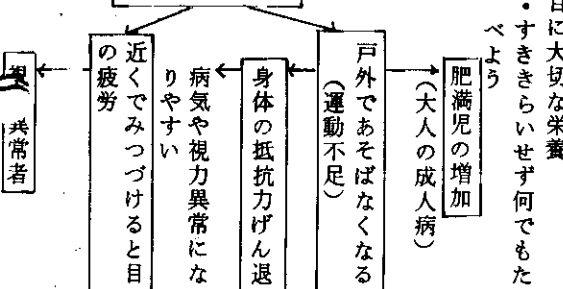
何しろ、全治するまで根気よく通院し、毎日努力してください。

目の異常者が、これ以上ふえぬよう、全児童に対しては各学級で、次のような保健指導をしています。

- ① 読書・勉強をする時
 - ・正しい姿勢(背骨を伸す)
 - ・明るい部屋(直射日光はダメ)
 - ・本と目の距離三十センチ
- ・照明(スタンド電気)
- ・時々、遠方のみどりをながめよう

左な、めの上

テレビの悪影響(保健面)



- ② テレビの見方
 - ・二/三メートルはなれてみる
 - ・部屋は明るくして
 - ・三十分みたら五分休けい
 - ・(連続視聴は目がつかれる)
 - ・ねころんでみない
 - (左右視力が違ってくる)
- ③ 保健衛生の正しい習慣
 - ・つめを短く
 - ・手洗の励行
 - ・ハンカチ
 - ・髪型に注意
 - ・前髪できれいな目をかくさぬように
- ④ 目に大切な栄養
 - ・すきらいせず何でもたべよう

編集 後記



お母さん、子どもの学習意欲や近視の問題解決のため、テレビにかわる楽しみをつくり出しましょう。夜のひとときを童話・おはなし・ラジオ・コーラス音楽・マンガ・絵etc. テレビのみにたよらず、我家どくどくの団らんのもたれては、昼間は太陽にたしむ子どもへ

三小の子どもひとりひとりが自分で自分の目をまもる習慣が身についたかしら、ご家庭でのあたゝかいご指導をかさねておねがい致します。子どもたちの幸せのために

本年度の第二号をおとどけ致します。本号では、アンケートの結果一番要望が多かった、家庭学習の問題について特集を組んでみました。ごらんになっていかがでしたでしょうか。ご意見をおきかせ下さい。

尚次号については、別のテーマを考えてみたいと思いたるので、ご要望がございましたらどしどしお寄せ下さる様御願ひ致します。